

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-521142

(P2017-521142A)

(43) 公表日 平成29年8月3日 (2017. 8. 3)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 F 13/15 (2006.01)	A 6 1 F 13/15 2 2 0	3 B 2 0 0
B 6 5 D 85/07 (2017.01)	B 6 5 D 85/16	3 E 0 6 7
B 6 5 D 75/20 (2006.01)	B 6 5 D 75/20	3 E 0 6 8
A 6 1 F 13/551 (2006.01)	A 6 1 F 13/551 2 0 0	

審査請求 有 予備審査請求 有 (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2016-572677 (P2016-572677)	(71) 出願人	506215320 エスセーアー・ハイジーン・プロダクツ・ アーベー
(86) (22) 出願日	平成26年6月13日 (2014. 6. 13)		スウェーデン・S E - 4 0 5 ・ 0 3 ・ イエ ーテボリ・ (番地なし)
(85) 翻訳文提出日	平成28年12月19日 (2016. 12. 19)	(74) 代理人	100108453 弁理士 村山 靖彦
(86) 国際出願番号	PCT/SE2014/050718	(74) 代理人	100110364 弁理士 実広 信哉
(87) 国際公開番号	W02015/190964	(74) 代理人	100133400 弁理士 阿部 達彦
(87) 国際公開日	平成27年12月17日 (2015. 12. 17)	(72) 発明者	コニー・ダールクヴィスト スウェーデン・S - 4 0 5 ・ 0 3 ・ イエ ーテボリ・ (番地なし) ・ エスセーアー・ハ イジーン・プロダクツ・アーベー内 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 向上された封止を有する包装ユニット、およびこのような包装ユニットを形成するための方法

(57) 【要約】

本発明は、衛生物品のための包装ユニットと、このようなユニットを形成する方法とを提供する。包装ユニットは、内面と外面とを有する材料のシートから形成され、内面は、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域を備える。シートは、シートを第1の領域と第2の領域とに分割する少なくとも1つの第1の折り畳み軸を有する。第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方が、再封止可能な接着剤を提供され、それにより第1の接着剤帯域を形成し、第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の他方が、接着剤無しである。さらに、第1の領域の接着剤を担持する縁部に対応する第2の領域の縁帯域の内側縁部または外側縁部が接着剤無しであり、そのため、シートが第1の折り畳み軸の周りに折り畳まれるとき、第1の領域における再封止可能な接着剤を担持する縁部が第2の領域における接着剤無しの縁部と接触させられる。少なくとも1つの第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離が、1 mm～20 mmであり、好ましくは2 mm～18 mmであり、より好ましくは3 mm～15 mmである。

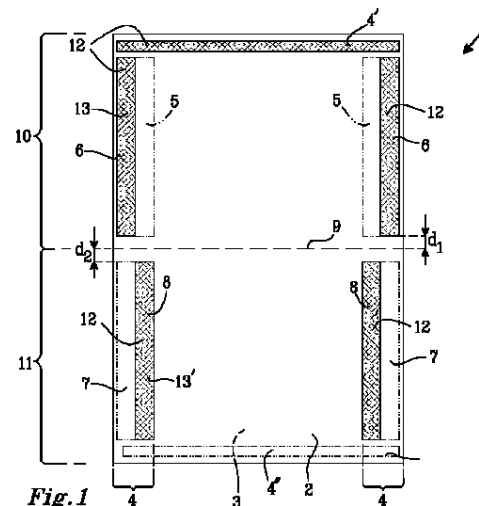


Fig. 1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

衛生物品のための包装ユニット（１、３０１）であって、前記包装ユニットが材料のシートから形成され、前記シートが内面（２、３０２）と外面（３、３０３）とを有し、前記内面（２、３０２）が、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域（４、３０４）を備え、前記シートが少なくとも１つの第１の折り畳み軸（９、３０９）を有し、前記第１の折り畳み軸（９、３０９）が前記シートを第１の領域（１０、３１０）と第２の領域（１１、３１１）とに分割し、前記第１の領域（１０、３１０）の前記縁帯域の前記内側縁部（５、３０５）および前記外側縁部（６、３０６）の一方が、再封止可能な接着剤（１２）を提供され、それにより第１の接着剤帯域を形成し、前記第１の領域（１０、３１０）の前記縁帯域の前記内側縁部（５、３０５）および前記外側縁部（６、３０６）の他方が接着剤（１２）無しであり、前記第１の領域（１０、３１０）の前記接着剤を担持する縁部に対応する前記第２の領域（１１、３１１）の前記縁帯域の前記内側縁部（８）または前記外側縁部（９）が接着剤無しであり、そのため、前記シートが前記第１の折り畳み軸（９、３０９）の周りに折り畳まれるとき、前記第１の領域（１０、３１０）における前記再封止可能な接着剤（１２）を担持する縁部が前記第２の領域（１１、３１１）における前記接着剤無しの縁部と接触させられる包装ユニット（１、３０１）において、前記少なくとも１つの第１の折り畳み軸（９、３０９）と前記第１の接着剤帯域との間の距離 d_1 が、 $1\text{ mm} \sim 20\text{ mm}$ であり、好ましくは $2\text{ mm} \sim 18\text{ mm}$ であり、より好ましくは $3\text{ mm} \sim 15\text{ mm}$ であることを特徴とする包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 2】

前記第１の領域（１０、３１０）の前記接着剤を担持する縁部と相補的である前記第２の領域（１１、３１１）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一方が接着剤無しである、請求項 1 に記載の包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 3】

前記第１の領域（１０、３１０）の前記接着剤を担持する縁部と相補的である前記第２の領域（１１、３１１）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一方が、再封止可能な接着剤（１２）を提供され、それにより第２の接着剤帯域を形成する、請求項 1 に記載の包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 4】

前記少なくとも１つの第１の折り畳み軸（９、３０９）と前記第２の接着剤帯域との間の距離 d_2 が、 $1\text{ mm} \sim 20\text{ mm}$ であり、好ましくは $2\text{ mm} \sim 18\text{ mm}$ であり、より好ましくは $3\text{ mm} \sim 15\text{ mm}$ である、請求項 3 に記載の包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 5】

材料の前記シートが、実質的に長方形のものであり、長手方向縁と、第１および第２の横断縁と、角部と、を備え、材料の前記シートの前記第１および第２の領域の前記縁帯域が前記長手方向縁に沿って配置される、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 6】

材料の前記シートが、第１および第２の横断縁帯域（４'、３０４'、３０４*）を備え、前記第１および第２の横断縁帯域（４'、３０４'、３０４*）の少なくとも一方の少なくとも一部分が、再封止可能な接着剤（１２）を提供される、請求項 5 に記載の包装ユニット（１、３０１）。

【請求項 7】

前記第１の領域（１０、３１０）の前記第１の横断縁帯域の一部分が、再封止可能な接着剤（１２）を提供され、一方、前記第１の領域（１０、３１０）の前記第１の横断縁帯域の残りの部分が、接着剤無しであり、前記第２の領域（１１、３１１）の前記第２の横断縁帯域の一部分が、再封止可能な接着剤（１２）を提供され、一方、前記第２の領域（１１、３１１）の前記第２の横断縁帯域の残りの部分が、前記第１の領域（１０、３１０）の前記第１の横断縁帯域と相補的な状態で接着剤無しであり、そのため、前記シートが

前記第1の折り畳み軸（9、309）の周りに折り畳まれるとき、前記第1の領域（10、310）における前記再封止可能な接着剤（12）を担持する横断縁部が前記第2の領域（11、311）における前記接着剤無しの横断縁部と接触させられ、前記第2の領域（11、311）における前記再封止可能な接着剤（12）を担持する横断縁部が前記第1の領域（10、310）における前記接着剤無しの横断縁部と接触させられる、請求項5に記載の包装ユニット（1、301）。

【請求項8】

前記角部のうちの少なくとも1つが、把持タブが形成されるように再封止可能な接着剤（12）の無い、請求項5から7のいずれか一項に記載の包装ユニット（1、301）。

【請求項9】

前記シートが、前記シートを前記第1の領域（310）と前記第2の領域（311）と第3の領域（312）とに分割する第1および第2の折り畳み軸（309、309'）を有し、前記第3の領域（312）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一方が、再封止可能な接着剤（12）を提供され、それにより第3の接着剤帯域を形成する、請求項1から4のいずれか一項に記載の包装ユニット（301）。

【請求項10】

前記シートが、前記シートを前記第1の領域（310）と前記第2の領域（311）と第3の領域（312）とに分割する第1および第2の折り畳み軸（309、309'）を有し、前記第3の領域（312）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部が、接着剤無しである、請求項3または4に記載の包装ユニット（301）。

【請求項11】

前記第2の折り畳み軸（309'）と前記第3の接着剤帯域との間の距離 d_3 が、1mm～20mmであり、好ましくは2mm～18mmであり、より好ましくは3mm～15mmである、請求項9に記載の包装ユニット（301）。

【請求項12】

前記シートが、前記第1、第2、および第3の領域（310、311、312）が重なり合う構成において、前記折り畳み軸（309、309'）に沿って折り畳まれる、請求項9から11のいずれか一項に記載の包装ユニット（301）。

【請求項13】

前記横断縁帯域のうちの少なくとも1つの少なくとも一部分が、再封止可能な接着剤（12）を提供される、請求項9から12のいずれか一項に記載の包装ユニット（301）。

【請求項14】

前記シートが、不透明である、および／または、印刷を含む、請求項1から13のいずれか一項に記載の包装ユニット（1、301）。

【請求項15】

前記再封止可能な接着剤（12）が、本質的に無制限な開放時間を伴う感圧接着剤である、請求項1から14のいずれか一項に記載の包装ユニット（1、301）。

【請求項16】

前記包装ユニット（1、301）が再密閉可能である、請求項1から15のいずれか一項に記載の包装ユニット（1、301）。

【請求項17】

材料のシートから、衛生物品のための包装ユニット（1、301）を形成する方法であって、

内面（2、302）と外面（3、303）とを有するシートを提供するステップであって、前記内面（2、302）が、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域（4、304）を備え、前記シートが少なくとも1つの第1の折り畳み軸（9、309）を有し、前記第1の折り畳み軸（9、309）が前記シートを第1の領域（10、310）と第2の領域（11、311）とに分割する、ステップと、

前記第1の領域（10、310）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一

10

20

30

40

50

方に、再封止可能な接着剤（１２）を提供するステップであって、そのため、前記第１の領域（１０、３１０）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の他方が接着剤無しであり、それにより第１の接着剤帯域を形成し、前記第１の領域（１０、３１０）の前記接着剤を担持する縁部に対応する前記第２の領域（１１、３１１）の前記縁帯域の前記内側縁部または前記外側縁部が接着剤無しであり、前記少なくとも１つの第１の折り畳み軸と前記第１の接着剤帯域との間の距離 d_1 が、１ｍｍ～２０ｍｍであり、好ましくは２ｍｍ～１８ｍｍであり、より好ましくは３ｍｍ～１５ｍｍである、ステップと、

前記シートを前記第１の折り畳み軸（９、３０９）の周りに折り畳むステップであって、そのため前記第１の領域（１０、３１０）における前記再封止可能な接着剤（１２）を担持する縁部が前記第２の領域（１１、３１１）における前記接着剤無しの縁部と接触させられる、ステップと、
を含む方法。

10

【請求項１８】

前記第１の領域（１０、３１０）の前記接着剤を担持する縁部と相補的である前記第２の領域（１１、３１１）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一方に、再封止可能な接着剤（１２）を提供し、それにより第２の接着剤帯域を形成するステップをさらに含む、請求項１７に記載の方法。

【請求項１９】

前記第２の接着剤帯域と前記第１の折り畳み軸との間の距離 d_2 が、１ｍｍ～２０ｍｍであり、好ましくは２ｍｍ～１８ｍｍであり、より好ましくは３ｍｍ～１５ｍｍである、
請求項１８に記載の方法。

20

【請求項２０】

前記シートが、前記シートを前記第１の領域（３１０）と前記第２の領域（３１１）と第３の領域（３１２）とに分割する第１および第２の折り畳み軸（３０９、３０９'）を有し、前記第３の領域（３１２）が、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域を有し、前記方法が、

前記第３の領域（３１２）の前記縁帯域の前記内側縁部および前記外側縁部の一方に、再封止可能な接着剤（１２）を提供し、それにより第３の接着剤帯域を形成するステップと、

前記第１、第２、および第３の領域（３１０、３１１、３１２）が重なり合う構成で配置されるように前記シートを折り畳むステップと、
をさらに含む、請求項１７から１９のいずれか一項に記載の方法。

30

【請求項２１】

前記第３の接着剤帯域と前記第２の折り畳み軸との間の距離 d_3 が、１ｍｍ～２０ｍｍであり、好ましくは２ｍｍ～１８ｍｍであり、より好ましくは３ｍｍ～１５ｍｍである、
請求項２０に記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、新たな衛生物品を包装するときと、使用された衛生物品の廃棄のときとの両方で、密封された包装を提供する、衛生物品のための包装ユニットに関する。本発明は、包装ユニットを形成するための方法にさらに関する。

40

【背景技術】

【０００２】

生理用ナプキンおよび下り物シートなどの廃棄可能な衛生物品は、通常、例えば簡単な包みまたは単一の包みにおいて、個別に包装される。個別の包装は、例えばハンドバッグにおいて、将来の使用のための単一の物品の衛生的な持ち運びを容易にする。個別の包装の縁は、超音波溶接または加熱溶接を用いて、しばしば封止される。さらに、包装ユニットは、未使用の物品を包装するための手段としてと、使用された物品の廃棄のための手段としてとの両方でしばしば使用される。

50

【0003】

この種類の使用された物品は、個別に衛生的に廃棄できることが望ましい。これは、例えばトイレの場所に利用可能な廃棄物の入れ物が無いときといった、使用された物品が交換された直後に使用者が使用された物品を廃棄する可能性を欠くとき、特に重要であり得る。この場合、使用者は、例えばハンドバッグまたはバックパックに、使用された物品を入れる必要があり得るが、これは、汚れや臭いを回避するために、包装を適切に封止することを必要とする。

【0004】

廃棄の問題に対処する一つの解決策が特許文献1において提案されており、特許文献1は、シートを第1の領域と第2の領域とに分割する少なくとも1つの折り畳み軸を有するシートから形成される包装ユニットを記載している。第1の領域の内面は内側縁部と外側縁部とを備え、それら縁部の一方が接着剤を提供され、それら縁部の他方は接着剤無しである。さらに、第2の領域の内側縁部および外側縁部の一方が、第1の領域と相補的な状態で、接着剤を提供されるか、または、接着剤無しであるかのいずれかである。したがって、シートが折り畳み軸の周りで折り畳まれるとき、第1の領域に接着剤を担持する縁部は、第2の領域の接着剤の無い縁部と接触させられ、第2の領域に接着剤を担持する縁部は、第1の領域の接着剤の無い縁部と接触させられる。特許文献1で開示されている包装ユニットは、新たな衛生物品を包装するときと、包装ユニットが汚れた衛生物品の廃棄のために使用されるときとの両方で、向上された封止を提供する。

【0005】

しかしながら、特許文献1に記載されている包装ユニットの製造工程は、接着剤を担持する縁部の存在によって悪影響を受け得ることが示され得る。例えば、折り畳むステップの間、包装ユニットの縁部に配置された接着剤が折り畳み工具によって捕らえられ、これが、包装ユニットから工具への接着剤の移動を引き起こしたり、不正確な折り畳みをもたらしたりすることになる。両方の場合において、包装ユニットの製造は損なわれることになる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】国際公開第2013/162430号

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

したがって、新たな衛生物品を包装するためと、使用された衛生物品の衛生的な維持および廃棄のためとの両方で使用でき、美的訴求力があり、製造を容易にする包装ユニットに対する要求がある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明は、衛生物品のための包装ユニットと、包装ユニットを形成する方法とを提供し、これは、前述した包装ユニットの決定を実質的に排除する。

【0009】

本発明は、新たに物品と使用された物品との両方のためのぴったりの包装を形成する可能性を提供する包装ユニットを提供し、それにより新たな物品を使用前に衛生的および清浄に保ち、使用された物品が包装されるときに汚れ、および、臭いの危険性を排除する。包装ユニットは、開いて再封止するのが容易であり、美的訴求力がある。さらに、本発明による包装ユニットは、製造を容易にする。

【0010】

本明細書で使用されているように、「内面」という用語は、包装ユニットの内側に位置決めされる製品を向く包装ユニットの面に言及しており、「外面」という用語は、内面と反対の面、つまり、周囲環境を向く面に言及している。

【0011】

「縁帯域」という用語によって、包装ユニットの縁に隣接する包装ユニットの部分が意味されている。縁帯域の幅は変わってもよい。

【0012】

「内側縁部」という用語は、包装ユニットの中心線に向かって位置決めされる縁帯域の部分に言及している。

【0013】

「外側縁部」という用語は、包装ユニットの縁に向かって位置決めされる縁帯域の部分に言及している。

【0014】

「単層」という用語によって、首尾一貫した材料の単一の層を含む包装ユニットが意味されている。単層包装ユニットの例は、ポリエチレン膜などのプラスチック膜、不織材料、金属箔などであり得る。単層材料は、統合された層を含むプラスチック膜材料などの非同種の材料、または、異なる材料の部分で異なる繊維組成を有する不織材料であり得る。本明細書で使用されているような単層材料は、分離可能な層を有する材料を含まない。

【0015】

「積層」という用語によって、包装ユニットが、同じまたは異なる可能性のある少なくとも2つの合体された分離可能な材料の層を備えることが意味されている。本発明の文脈において、積層は、例えば、2つの分離可能なプラスチック膜の層、膜および不織布、2つの不織布の層、または同種のものから構成され得る。

【0016】

「再封止可能な接着剤」という用語によって、2つの接着面の間に非永久的な接着結合、つまり、接着に引っ張り力を加えることで分けられ、接着に押し付け力を加えることで再現され得る結合を、提供する接着剤が意味されている。

【0017】

本発明による衛生物品のための包装ユニットは、内面と外面とを有する材料のシートから形成される。内面は、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域を備える。包装ユニットは、シートを第1の領域と第2の領域とに分割する少なくとも1つの第1の折り畳み軸を有する。第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方が、再封止可能な接着剤を提供され、それにより第1の接着剤帯域を形成し、第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の他方が、接着剤無しである。さらに、第1の領域の接着剤を担持する縁部に対応する第2の領域の縁帯域の内側縁部または外側縁部が接着剤無しであり、そのため、シートが第1の折り畳み軸の周りに折り畳まれるとき、第1の領域における再封止可能な接着剤を担持する縁部が第2の領域における接着剤無しの縁部と接触させられる。少なくとも1つの第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離が、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmである。

【0018】

第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間にこのような距離を設けることで、第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間に接着剤の無い部分を作り出す。したがって、折り畳み工具は、第1の接着剤帯域に配置された再封止可能な接着剤によって捕らえられる危険性なく、第1の折り畳み軸に位置決めできる。

【0019】

第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離は、包装ユニットの寸法および縁帯域の大きさに依存して変えられてもよい。また、第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離は、折り畳み工具のための十分な空間を提供しつつ、新たな物品と使用された物品との両方の周りで十分に密封された包装を形成する可能性をなおも提供するように、最適化されるべきである。

【0020】

本発明の包装ユニットと共に使用される適切な再封止可能な接着剤は、接着剤が別の基材にいつでも結合できることを意味する無制限な開放時間を有する感圧接着剤である。

【0021】

包装ユニット共に使用される再封止可能な接着剤は、非常に大きな自己接着性を有するが、剥離剤で処理されているプラスチック材料または紙などの他の材料から容易に分離または剥離され得るものである。本発明による包装ユニットの主要な利点は、新たな衛生物品が取り出されようとしているときに完全に開かれ得ることである。それと比較して、接着剤で被覆された縁部が互いと接触している接着剤で封止された縁を有する先行技術の包装は、接着剤で封止された縁の接着強度が大き過ぎ、包装を完全に開こうとするあらゆる試みが、包装ユニットの破れおよび破損を概してもたらすことになり、包装ユニットを、使用された物品の個別の衛生的な廃棄に使用できなくさせてしまう。包装ユニットが折り畳まれるとき、本発明の包装ユニットの接着剤で被覆された縁部は互いと接触していないため、包装ユニットは容易に開いて再封止でき、ぴったりとした廃棄パッケージを提供する。同時に、本発明の接着剤パターンを用いる包装ユニットの接着剤で封止された縁の引張強度は、新たな物品と使用された物品との両方についてぴったりとした包装を提供するのに十分であると共に、容易に開かれる包装を提供するだけの小ささである。

10

【0022】

シートの幾何学的形状は、包装される衛生物品の種類に依存して異なってもよい。シートは、円形、三角形、正方形、長方形、または、包装される衛生物品にとって適した任意の他の形であり得る。しかしながら、シートは少なくとも1つの対称軸を有することが望ましい。

20

【0023】

本発明による包装ユニットでは、第1の領域の接着剤を担持する縁部と相補的である第2の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方が接着剤無しであり得る。別の言い方をすれば、第2の領域の縁帯域、つまり、第2の領域の内側縁部および外側縁部の両方は、接着剤無しであり得る。このような実施形態では、包装は、第1の接着剤帯域に提供された再封止可能な接着剤を用いて封止され、これは、再封止可能な接着剤の消費を最小限にするという利点を有する。一方、第1の接着剤帯域の幅は、適切な封止強度を提供するために十分であるべきである。

【0024】

別の実施形態によれば、第1の領域の接着剤を担持する縁部と相補的である第2の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方が、再封止可能な接着剤を提供され得、それにより第2の接着剤帯域を形成する。このような実施形態では、包装ユニットが第1の折り畳み軸の周りで折り畳まれるとき、第1の領域に再封止可能な接着剤を担持する縁部は、第2の領域の接着剤の無い縁部と接触させられ、第2の領域に再封止可能な接着剤を担持する縁部は、第1の領域の接着剤の無い縁部と接触させられる。

30

【0025】

第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離が、第2の接着剤帯域の再封止可能な接着剤によって折り畳み工具が捕らえられる危険性なく、折り畳み工具を第1の折り畳み軸において位置決めできるだけの十分な大きさである場合、第2の接着剤帯域の長手方向延在は、第2の領域の長手方向延在と等しくてもよい。好ましくは、第1の折り畳み軸と第2の接着剤帯域との間の距離は、折り畳み工具を位置決めするための空間が第1の折り畳み軸のどちらかの側に作り出されるように、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmである。第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離と、第1の折り畳み軸と第2の接着剤帯域との間の距離は、同じであってもよく、または、異なってもよい。

40

【0026】

前述したように、包装ユニットは、少なくとも1つの第1の折り畳み軸を備える。折り畳み軸の数は、包装ユニットがどのように折り畳まれるように意図されているかに依存して、異なってもよい。包装ユニットが1つから3つの間の折り畳み軸を備えることが好ましい。

【0027】

50

包装ユニットを形成するための材料のシートの広がっている形は、正方形または長方形である。本発明によるこのようなシートは、長手方向縁、第1の横断縁、および第2の横断縁としてここでは言及される側縁と、角部とを有し、材料のシートの第1および第2の領域の縁帯域は、長手方向縁に沿って配置される。したがって、再封止可能な接着剤で覆われる縁部と、接着剤の無い縁部とは、長手方向縁に沿って位置決めされる。好ましくは、外側縁部に配置される再封止可能な接着剤は、シートの長手方向縁までずっと延びるように位置決めされる。

【0028】

接着剤で被覆された縁部の幅は、望まれる接着剤の強度に依存して異なってもよい。接着剤で被覆された縁帯域がより幅広になると、封止がより強くなる。接着剤で被覆された縁部の幅は、異なる領域において、同じであってもよく、または、異なってもよい。

【0029】

材料のシートは、本発明による包装ユニットが形成される材料のシートの横断縁に沿って配置される第1および第2の横断縁帯域を備えてもよい。第1の横断縁帯域は、第1の領域の横断縁に設けられる。第2の横断縁帯域の位置決めは、折り畳み軸の数に依存する。包みシートが1つの折り畳み軸を備えるとき、第2の横断縁帯域は第2の領域の横断縁に配置される。包みシートが2つの折り畳み軸を備えるとき、第2の横断縁帯域は第3の領域の横断縁に配置され、以下同じように続く。

【0030】

好ましくは、包装ユニットの第1の領域の第1の横断縁帯域は再封止可能な接着剤を提供され、一方、包みシートの第2の横断縁帯域は接着剤無しである。包みシートが1つの折り畳み軸を備えるとき、第1の領域の第1の横断縁帯域の一部分は第1の再封止可能な接着剤を提供され、一方、第1の領域の第1の横断縁帯域の残りの部分は接着剤無しであり、第2の領域の第2の横断縁帯域の一部分は第1の接着剤を提供され、一方、第2の領域の第2の横断縁帯域の残りの部分は、第1の領域の横断縁帯域と相補的な状態で接着剤無しである。したがって、包装ユニットが第1の折り畳み軸の周りで折り畳まれるとき、第1の領域に再封止可能な接着剤を担持する横断縁部は、第2の領域の接着剤の無い横断縁部と接触させられ、第2の領域に第1の再封止可能な接着剤を担持する横断縁部は、第1の領域の接着剤の無い横断縁部と接触させられる。また、包装ユニットの第1の横断縁帯域と第2の横断縁帯域との両方は、包装ユニットが少なくとも2つの折り畳み軸を備えるとき、再封止可能な接着剤を提供され得る。

【0031】

開くのを容易にするために、角部のうちの少なくとも1つは、把持タブが形成されるように再封止可能な接着剤が無くてもよい。

【0032】

前述したように、個別に包まれた衛生製品についての最も共通した折り畳みパターンの1つは、いわゆるe字形の折り畳みである。この場合、シートは、シートを第1の領域と第2の領域と第3の領域とに分割する第1の折り畳み軸と第2の折り畳み軸とを有する。したがって、第1、第2、および第3の領域が重なり合う構成でシートが折り畳み軸に沿って折り畳まれる包装ユニットが、形成され得る。

【0033】

新たな衛生物品を包装するときと、使用された衛生物品のために廃棄包装を形成するときとの両方でぴったりとした包装を得るために、第3の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方が再封止可能な接着剤を提供され、それにより第3の接着剤帯域を形成する。

【0034】

第3の接着剤帯域は、第3の領域の縁帯域の内側縁部または外側縁部のいずれかに位置決めされ得る。したがって、第3の接着剤帯域は、第1の接着剤帯域を備える縁部と相補的であるか、または、その縁部に対応するかのいずれかである第3の領域の縁部に位置決めされ得る。

10

20

30

40

50

【0035】

第2の領域が、再封止可能な接着剤を提供される第1の領域の縁部と相補的である縁部に配置される第2の接着剤帯域を備え、第3の接着剤帯域が、再封止可能な接着剤を提供される第1の領域の縁部に対応し、第2の接着剤帯域の位置決めと相補的である第3の領域の縁部に提供されるとき、再封止可能な接着剤のチェス盤のパターンが、長手方向縁帯域の各々に沿って形成される。このような実施形態では、包装ユニットの折り畳みが、第1の折り畳み軸および第2の折り畳み軸のいずれかの周りで開始され得る。

【0036】

第2の領域が、再封止可能な接着剤を提供される第1の領域の縁部と相補的である縁部に配置される第2の接着剤帯域を備え、第3の接着剤帯域が、再封止可能な接着剤を提供される第2の領域の縁部に対応し、第1の接着剤帯域の位置決めと相補的である第3の領域の縁部に提供されるとき、新たな衛生物品を含む包装の折り畳みは第1の折り畳み軸の周りで開始され、そのため、第1の領域の接着剤で被覆された縁部は、第2の領域の接着剤の無い部分と接触させられ、第2の領域の接着剤で被覆された部分は、第1の領域の接着剤の無い部分と接触させられる。続く第2の折り畳み軸の周りの折り畳みは、第3の領域の内面を第1の領域の外表面と接触させ、それにより蓋を形成し、包装を封止する。このような実施形態による包装ユニットが汚れた物品の廃棄のために使用される場合、包装ユニットが廃棄のために使用されるとき、包装ユニットの再密閉可能性を維持することはもはや要件ではないため、包装ユニットの折り畳みは、第1の折り畳み軸および第2の折り畳み軸のいずれかの周りで開始されてもよい。

【0037】

第2の領域が、再封止可能な接着剤を提供される第1の領域の縁部と相補的である縁部に配置される第2の接着剤帯域を備えるとき、第3の領域の縁部は接着剤無しである。このような実施形態では、包装ユニットの折り畳みは第2の折り畳み軸の周りで開始され、そのため、第2の領域の接着剤で被覆された縁部は、第3の領域の接着剤の無い部分と接触される。続く第1の折り畳み軸の周りの折り畳みは、第1の領域の接着剤で被覆された縁部を包装ユニットの第3の領域の外表面と接触させ、それにより封止された包装を形成する。

【0038】

第2の領域が第2の接着剤帯域を備えるとき、第2の折り畳み軸と第2の接着剤帯域との間の距離は、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmである。

【0039】

第2の領域の縁部が接着剤無しであるとき、第3の領域の内側縁部および外側縁部の一方は再封止可能な接着剤を提供されなければならない、それにより第3の接着剤帯域を形成する。第3の接着剤帯域は、第1の接着剤帯域を備える第1の領域の縁部と相補的であるか、または、その縁部に対応するかのいずれかである第3の領域の縁部に位置決めされる。このような実施形態では、包装ユニットの折り畳みが、第1の折り畳み軸および第2の折り畳み軸のいずれかの周りで開始され得る。

【0040】

好ましくは、第2の折り畳み軸と第3の接着剤帯域との間の距離は、折り畳み工具を位置決めするための空間が第2の折り畳み軸のどちらかの側に作り出されるように、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmであり得る。第2の折り畳み軸と第2の接着剤帯域との間の距離と、第2の折り畳み軸と第3の接着剤帯域との間の距離は、同じであってもよく、または、異なってもよい。

【0041】

2つの折り畳み軸を備える包装ユニットの横断縁帯域のうちの少なくとも1つの少なくとも一部分は、前述のように、再封止可能な接着剤を提供され得る。好ましくは、第1の領域または第3の領域の一方の横断縁帯域は、再封止可能な接着剤を提供される。このような実施形態では、折り畳むことは、接着剤の無い横断縁帯域を備える包装ユニットの領

域に隣接する折り畳み軸の周りで開始されるべきであり、そのため、接着剤を担持する横断縁帯域を備える領域の内面は、接着剤の無い横断縁帯域を備える領域の外面と接触せられ、それにより十分に密封された包装を形成する。

【0042】

包装ユニットを形成するためのシートは、ポリエチレン膜または不織布など、当業者に知られている任意の適切な材料の単層のシートとできる。シートは、少なくとも2つの区別できる層を含む積層であってもよい。衛生物品の包装に適した積層は、当業者に知られていると考えられ、本発明について限定する任意の形ではない。

【0043】

望ましい場合、本発明による包装ユニットを形成するためのシートは、包装ユニットの内容物を隠すために不透明であってもよく、これは、本発明の包装ユニットへと包まれた使用された物品が交換直後に廃棄できない場合、特に重要である。さらに、シートは印刷を含んでもよく、印刷は、使用者の注意をひきつけることと、使用者の気持ちを向上することのために有益であり得る。

【0044】

本発明による包装ユニットを形成する材料のシートは、臭い抑制物質または臭い中和物質を含んでもよい。このような物質は、例えば、被覆、活性化可能カプセル、含浸パッチなど、当業者に知られている任意の適切な手法で適用できる。

【0045】

本発明による包装ユニットを形成するためのシートが伸縮可能または拡張可能であり得ることは検討可能であり、これは、衛生物品が使用中に大きく変形される場合、有利とでき、したがって、包装ユニットを変形することなく包むのは困難であり得る。

【0046】

本発明において使用される再封止可能な接着剤は、H. B. Fullerから入手可能なLunatic（登録商標）D656 BD 19など、感圧ホットメルト接着剤であり得る。

【0047】

本発明による包装ユニットが廃棄のために使用されるとき、使用者は、包装ユニットの縁帯域における接着剤のパターンに係わらず、折り畳みの代わりに包装ユニットを巻き上げることを選択してもよい。

【0048】

本発明による包装ユニットは、

- ー 内面と外面とを有するシートを提供するステップであって、内面が、内側縁部と外側縁部とを備える縁帯域を備え、シートが少なくとも1つの第1の折り畳み軸を有し、第1の折り畳み軸がシートを第1の領域と第2の領域とに分割する、ステップと、

- ー 第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方に、再封止可能な接着剤を提供するステップであって、そのため、第1の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の他方が接着剤無しであり、それにより第1の接着剤帯域を形成し、第1の領域の接着剤を担持する縁部に対応する第2の領域の縁帯域の内側縁部または外側縁部が接着剤無しであり、少なくとも1つの第1の折り畳み軸と第1の接着剤帯域との間の距離が、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmである、ステップと、

- ー シートを折り畳み軸の周りに折り畳むステップであって、そのため第1の領域における再封止可能な接着剤を担持する縁部が第2の領域における接着剤無しの縁部と接触せられる、ステップと

を含む方法によって製作され得る。

【0049】

方法は、

- ー 第1の領域の接着剤を担持する縁部と相補的である第2の領域の縁帯域の内側縁部および外側縁部の一方に、再封止可能な接着剤を提供し、それにより第2の接着剤帯域を

10

20

30

40

50

形成するステップ

をさらに含んでもよい。

【0050】

前述のように、第1の折り畳み軸において折り畳み工具を位置決めすることと、縁帯域において配置される再封止可能な接着剤によって折り畳み工具が捕らえられる危険性を最小限にすることとに向けて十分な空間を提供するために、第2の接着剤帯域は、第2の接着剤帯域と第1の折り畳み軸との間の距離が、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmであるように提供され得る。

【0051】

シートが、シートを第1の領域と第2の領域と第3の領域とに分割する第1の折り畳み軸と第2の折り畳み軸とを有する場合、方法は、

— 第3の領域の縁帯域の前記内側部および前記外側部の一方に、再封止可能な接着剤を提供し、それにより第3の接着剤帯域を形成するステップと、

— 第1、第2、および第3の領域が重なり合う構成で配置されるようにシートを折り畳むステップと

をさらに含み得る。

【0052】

前述のように、第2の折り畳み軸において折り畳み工具を位置決めすることと、縁帯域において配置される再封止可能な接着剤によって折り畳み工具が捕らえられる危険性を最小限にすることとに向けて十分な空間を提供するために、第3の接着剤帯域は、第3の接着剤帯域と第2の折り畳み軸との間の距離が、1～20mmであり、好ましくは2～18mmであり、より好ましくは3～15mmであるように提供され得る。

【0053】

ここで、本発明の実施形態が、添付の図面を参照しつつ、例を用いて記載されることになる。

【図面の簡単な説明】

【0054】

【図1】 1つの折り畳み軸を有する本発明による包装ユニットの図である。

【図2】 折り畳まれた状態における図1で描写された包装ユニットの図である。

【図3】 2つの折り畳み軸を有する本発明による包装ユニットの図である。

【図4】 折り畳まれた状態における図3で描写された包装ユニットの図である。

【発明を実施するための形態】

【0055】

図1は、本発明による衛生物品のための包装ユニット1を描写している。包装ユニットは、内面2と外面3とを有する材料のシートから形成されており、内面は、内側縁部5、8と外側縁部6、7とを備える縁帯域4を備えている。包装ユニット1は、第1の横断縁帯域4'と第2の横断縁帯域4''とをも備えている。シートは第1の折り畳み軸9を有しており、折り畳み軸9シートを第1の領域10と第2の領域11とに分割している。図1に示しているように、第1の領域10の縁帯域4の外側縁部6は、再封止可能な接着剤12を提供され、それにより第1の接着剤帯域13を形成しており、一方、第1の領域10の縁帯域4の内側縁部5は接着剤無しである。図1で見ることができるように、第1の接着剤帯域13は第1の折り畳み軸9から距離 d_1 に配置されており、これは、折り畳み工具が第1の折り畳み軸9に位置付けられるのに十分な空間を提供している。図1に示しているように、距離 d_1 は5mmである。さらに、第2の領域11の縁帯域4の内側縁部8は、再封止可能な接着剤12を提供され、それにより第2の接着剤帯域13'を形成しており、一方、第2の領域11の縁帯域4の外側縁部7は接着剤無しである。図1に描写しているように、第2の接着剤帯域13'は、第1の折り畳み軸9から距離 d_2 に配置されており、距離 d_2 は5mmである。また、第1の領域10の第1の横断縁帯域4'は再封止可能な接着剤12を提供されており、一方、第2の領域11の第2の横断縁帯域4''は接着剤無しである。したがって、第1の領域10における接着剤パターンは、第2の領域

10

20

30

40

50

11の接着剤パターンと相補的になっている。これは、図2に示すようにシートが第1の折り畳み軸9の周りで折り畳まれるとき、第1の領域10における再封止可能な接着剤12を担持する縁部6が、第2の領域11における接着剤の無い縁部7と接触させられ、第2の領域11における再封止可能な接着剤12を担持する縁部8が、第1の領域10における接着剤の無い縁部5と接触させられ、第1の領域10における再封止可能な接着剤12を担持する第1の横断縁帯域4'が、第2の領域11における接着剤の無い第2の横断縁帯域4''と接触させられることをさらに意味する。第1の折り畳み軸9の各々の側において距離 d_1 および d_2 によって提供された空間は、容易にさせられた正確な折り畳みを確実にしている。

【0056】

吸収性物品の個別の包装のための最も一般的な包装ユニットは、2つの折り畳み軸と、長手方向縁と、横断縁とを備える長方形のシートである。このような実施形態は図3に示されている。包装ユニット301は、包装ユニットを第1の領域310と第2の領域311と第3の領域312とに分割する第1の折り畳み軸309および第2の折り畳み軸309'を備えている。領域の各々は内側縁部305、305'、308と外側縁部306、306'、307とを備える長方形のシートである。図3に示しているように、第1および第3の領域の外側縁部306、307は、再封止可能な接着剤12をそれぞれ提供されており、それによって第1および第3の接着剤帯域313、313'をそれぞれ形成し、一方、第1および第3の領域の内側縁部305、308はそれぞれ接着剤無しである。図3で見ることができるように、第1の接着剤帯域313は第1の折り畳み軸309から距離 d_1 に配置されており、これは、折り畳み工具が第1の折り畳み軸309に位置付けられるのに十分な空間を提供している。図3に示した実施形態では、距離 d_1 は7mmである。さらに、第3の接着剤帯域313'は第2の折り畳み軸309'から7mmである距離 d_3 に配置されている。第2の領域311の外側縁部306'および内側縁部305'は接着剤無しである。これは、シートが、図4に示しているように、折り畳み軸309、309'の周りにe字形で折り畳まれるとき、再封止可能な接着剤12を担持する第1の領域310の外側縁部306または第3の領域312の外側縁部307が、折り畳みが第1の折り畳み軸309または第2の折り畳み軸309'のどちらの周りで開始されるかに依存して、および、第2の領域311と接触させられる第1および第3の領域310、312のどちらかに依存して、第2の領域311における接着剤の無い外側縁部306'に接触させられることをさらに意味する。図4に描写されている包装ユニットが折り畳まれる順番が重要なことではないことは、留意されるべきである。例えば、包装ユニットは、第2の折り畳み軸309'の周りで折り畳まれ、第3の領域312を第2の領域311と接触させ、外側縁部307、306'を封止してもよい。続いて、包装ユニットは、第1の折り畳み軸309の周りに折り畳まれ、第1の領域310を第3の領域312の外面と接触させ、それによって包装ユニットを封止する(図4)。折り畳みの順番は逆にされてもよい。これは、本発明の包装ユニットが廃棄のために使用されるとき、使用者が、密封された包装を得るために、包装ユニットを任意の具体的な順番で折り畳む必要がないため、非常に有利である。包装ユニットは、折り畳む順番に係わらず、十分にぴったりとした衛生的な包装を提供することになる。

【0057】

ぴったりとした包装を得るために、包装ユニット301の第1および第2の横断縁帯域304'および304*は、再封止可能な接着剤12を提供されている。両方の横断縁帯域304'および304*が再封止可能な接着剤を提供されるとき、前述したように、折り畳みの順番は重要ではない。第1および第2の横断縁帯域304'および304*の一方だけに、再封止可能な接着剤を提供することも検討可能である。この場合、折り畳みは、接着剤の無い横断縁帯域の最も近くに位置決めされた折り畳み軸の周りで開始され、そのため、接着剤で被覆された横断縁帯域を備える領域が蓋を形成し、横断縁帯域に位置付けられた再封止可能な接着剤が包装ユニットを封止する。

【0058】

包装を開けるのを容易にするために、接着剤で被覆された部分は、包装ユニット 301 の角部 21 のうちの少なくとも 1 つが接着剤無しであるように位置決めされ、それによって、包装を開くときに使用者によって把持される把持タブを形成している。さらに、接着剤の無い角部 21 は、包装ユニットが封止されるとき（図 4）、排出開口として機能する。

【0059】

本発明による包装ユニットが廃棄のために使用されるとき、使用者は、包装ユニットと、包装ユニットに位置決めされた汚れた物品とを、それを折り畳むのではなく巻き上げることを選択できる。

【0060】

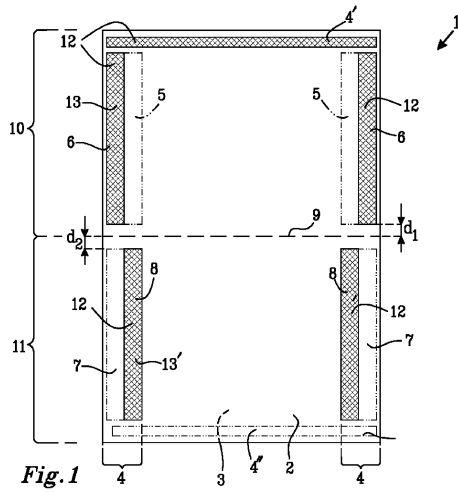
本発明が様々な実施形態を参照して記載されてきたが、当業者は、変更が本発明の範囲から逸脱することなく行われ得ることを認めることになる。詳細な記載が例示として見なされることと、すべての均等物を含む添付の請求項が本発明の範囲を定義するように意図されていることが、意図されている。

【符号の説明】

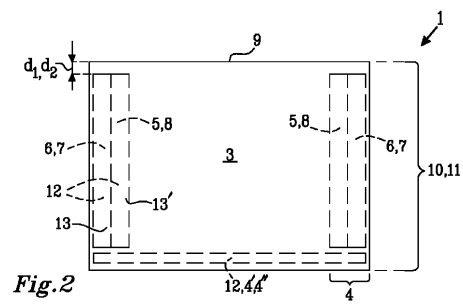
【0061】

- | | | |
|----------------|-------------------|----|
| 1 | 包装ユニット | |
| 2 | 内面 | |
| 3 | 外面 | |
| 4 | 縁帯域 | 20 |
| 4' | 第 1 の横断縁帯域 | |
| 4" | 第 2 の横断縁帯域 | |
| 5 | 内側縁部 | |
| 6 | 外側縁部 | |
| 7 | 外側縁部 | |
| 8 | 内側縁部 | |
| 9 | 第 1 の折り畳み軸 | |
| 10 | 第 1 の領域 | |
| 11 | 第 2 の領域 | |
| 12 | 再封止可能な接着剤 | 30 |
| 13 | 第 1 の接着剤帯域 | |
| 13' | 第 2 の接着剤帯域 | |
| 301 | 包装ユニット | |
| 304'、304* | 第 1 および第 2 の横断縁帯域 | |
| 305、305'、308 | 内側縁部 | |
| 306、306'、307 | 外側縁部 | |
| 309 | 第 1 の折り畳み軸 | |
| 309' | 第 2 の折り畳み軸 | |
| 310 | 第 1 の領域 | |
| 311 | 第 2 の領域 | 40 |
| 312 | 第 3 の領域 | |
| 313 | 第 1 の接着剤帯域 | |
| 313' | 第 3 の接着剤帯域 | |
| d ₁ | 距離 | |
| d ₂ | 距離 | |

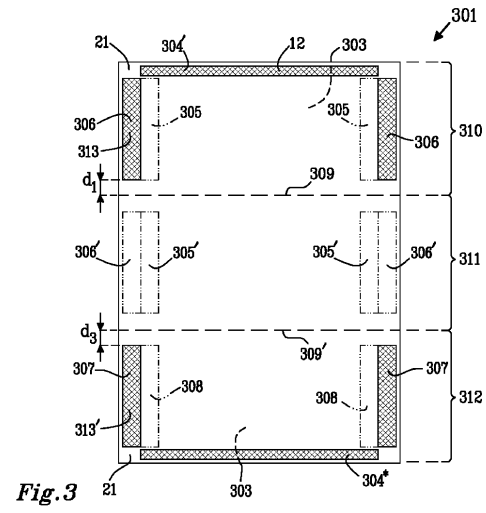
【図 1】



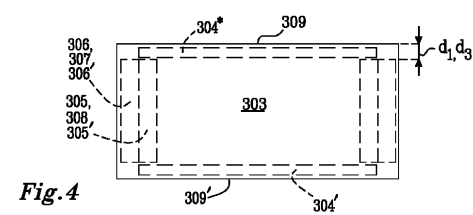
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/SE2014/050718

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC: see extra sheet According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC: A61F, B65D Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched SE, DK, FI, NO classes as above Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) EPO-Internal, PAJ, WPI data		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2013162430 A1 (SCA HYGIENE PROD AB ET AL), 31 October 2013 (2013-10-31); abstract; page 3, line 1 - line 5; page 4, line 29 - page 5, line 15; page 6, line 5 - line 8; page 7, line 29 - page 8, line 14; figures 1-12; claims 1-15 --	1-21
A	US 20070049891 A1 (CLARK JAMES J JR ET AL), 1 March 2007 (2007-03-01); abstract; paragraphs [0031], [0082]-[0089]; figures 7-7A --	1-21
A	US 5569230 A (FISHER DANIELLA J ET AL), 29 October 1996 (1996-10-29); column 10, line 10 - line 39; column 13, line 16 - line 29; figures 1-3 --	1-21
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 11-02-2015		Date of mailing of the international search report 11-02-2015
Name and mailing address of the ISA/SE Patent- och registreringsverket Box 5055 S-102 42 STOCKHOLM Facsimile No. + 46 8 666 02 86		Authorized officer Monika Bohlin Telephone No. + 46 8 782 25 00

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/SE2014/050718

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 5868727 A (BARR JAMES P ET AL), 9 February 1999 (1999-02-09); abstract; figures 1-9 --	1-21
A	WO 9734556 A2 (PROCTER & GAMBLE), 25 September 1997 (1997-09-25); abstract; page 8; figure 1 --	1-21
A	GB 2273279 A (KAO CORP), 15 June 1994 (1994-06-15); abstract; page 41; figure 22 --	1-21
A	US 20030225390 A1 (VOGT BRIAN ROBERT ET AL), 4 December 2003 (2003-12-04); abstract; paragraphs [0114]-[0124]; figures 5-9 --	1-21
A	US 5769837 A (PARR DEBORAH JEAN), 23 June 1998 (1998-06-23); abstract; figures 1-3 --	1-21
A	WO 8810219 A1 (MOELNLYCKE AB), 29 December 1988 (1988-12-29); abstract; figures 1-5 -- -----	1-21

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No. PCT/SE2014/050718
--

Continuation of: second sheet**International Patent Classification (IPC)***A61F 13/551* (2006.01)*B65D 65/14* (2006.01)*B65D 75/20* (2006.01)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/SE2014/050718

WO	2013162430 A1	31/10/2013	AU	2012378325 A1	06/11/2014
			CN	104244894 A	24/12/2014
US	20070049891 A1	01/03/2007	AU	2006285389 B2	02/08/2012
			BR	PI0614951 A2	26/04/2011
			EP	1919425 A1	14/05/2008
			KR	20080045160 A	22/05/2008
			MX	2008002784 A	08/04/2008
			US	8403903 B2	26/03/2013
			US	8845609 B2	30/09/2014
			US	20130158498 A1	20/06/2013
			WO	2007027221 A1	08/03/2007
US	5569230 A	29/10/1996	NONE		
US	5868727 A	09/02/1999	AR	002499 A1	25/03/1998
			AT	235205 T	15/04/2003
			AT	230963 T	15/02/2003
			AU	5451096 A	02/01/1997
			AU	705005 B2	13/05/1999
			BR	9602793 A	22/04/1998
			CN	1139545 A	08/01/1997
			CN	1142756 C	24/03/2004
			CO	4700395 A1	29/12/1998
			DE	69625745 T2	25/03/2004
			DE	69627054 T2	08/01/2004
			EP	0749742 A3	11/02/1998
			EP	1040798 B1	26/03/2003
			ES	2194671 T3	01/12/2003
			ES	2189855 T3	16/07/2003
			HU	9601464 A1	28/05/1997
			HU	220176 B	28/11/2001
			IN	187897 A1	20/07/2002
			JP	H09567 A	07/01/1997
			MY	132148 A	28/09/2007
			NZ	286576 A	24/11/1997
			PL	314713 A1	23/12/1996
			PL	183187 B1	28/06/2002
			PT	749742 E	30/04/2003
			ZA	9605099 A	15/12/1997
WO	9734556 A2	25/09/1997	AU	2078197 A	10/10/1997
			CA	2249261 A1	25/09/1997
			EP	0802140 A3	24/02/1999
			EP	0891173 A2	20/01/1999
			JP	H11506965 A	22/06/1999

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
 Information on patent family members

 International application No.
 PCT/SE2014/050718

GB	2273279 A	15/06/1994	GB	2298627 B	28/05/1997
			HK	1002989 A1	30/09/1998
			HK	29297 A	21/03/1997
			MY	116472 A	28/02/2004
			SG	44596 A1	19/12/1997
US	20030225390 A1	04/12/2003	AR	039828 A1	02/03/2005
			AU	2003234117 B2	10/01/2008
			BR	0310043 B1	10/09/2013
			CN	1652738 A	10/08/2005
			CN	1329012 C	01/08/2007
			DE	60335103 D1	05/01/2011
			EP	1507500 A1	23/02/2005
			JP	4695874 B2	08/06/2011
			JP	2005527328 A	15/09/2005
			KR	100963715 B1	15/06/2010
			KR	20050007396 A	17/01/2005
			MX	PA04011298 A	14/02/2005
			RU	2322221 C2	20/04/2008
			RU	2004133660 A	10/06/2005
			US	7039997 B2	09/05/2006
			WO	03101363 A1	11/12/2003
			ZA	200409210 A	22/02/2006
US	5769837 A	23/06/1998	AT	133061 T	15/02/1996
			AU	656900 B2	23/02/1995
			AU	8254291 A	20/02/1992
			BR	9103537 A	09/06/1992
			CA	2049168 A1	18/02/1992
			DE	69116473 D1	29/02/1996
			EP	0471385 A1	19/02/1992
			ES	2084739 T3	16/05/1996
			PH	31038 A	29/12/1997
WO	8810219 A1	29/12/1988	AU	1960388 A	19/01/1989
			EP	0364486 A1	25/04/1990
			FI	895992 A0	14/12/1989
			SE	464020 B	25/02/1991
			SE	8702582 L	23/12/1988

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72)発明者 ウルリーカ・パーション

スウェーデン・S-405・03・イエーテボリ・(番地なし)・エッセアー・ハイジーン・プロダクツ・アーベー内

(72)発明者 ソフィア・エクステット

スウェーデン・S-405・03・イエーテボリ・(番地なし)・エッセアー・ハイジーン・プロダクツ・アーベー内

Fターム(参考) 3B200 AA03 CA11 DF09 EA18 EA23

3E067 AB83 AC01 BA18 BB14 BC04 EA04 GD10

3E068 AA40 AB02 AC07 CC22 CC26 CE03 DD01 DE03 DE18 EE22

EE31